

脱炭素社会への挑戦

脱炭素時代を生き抜く環境経営 ~変える企業意識 変えるエネルギーの使い方~

経営基盤の強化へ

企業が温暖化のリスク・機会を認識して対策に取り組むことは、資金調達にも関する重要な課題となっている。10月28日にオンライン配信した日経産業新聞フォーラム「脱炭素社会への挑戦」脱炭素時代を生き抜く環境経営」では、脱炭素経営の取り組みの最新事例や潮流、具体的なソリューションなどが紹介され、企業の持続的成長のための知見が語られた。

基調講演

脱炭素経営による 企業価値の向上について

環境省 地球環境局地球温暖化対策課 課長 小笠原靖氏



環境省 地球環境局地球温暖化対策課 課長 小笠原靖氏

脱炭素経営による企業価値の向上について。環境省 地球環境局地球温暖化対策課 課長 小笠原靖氏。脱炭素経営は、環境省が推進する「2050年カーボンニュートラル」を実現するための重要な取り組みである。企業は、脱炭素経営を通じて、環境リスクを軽減し、競争力を向上させることができる。また、脱炭素経営は、社会全体の持続的成長に貢献する。企業は、脱炭素経営を推進し、持続的成長を実現する必要がある。

TCFD情報開示に対応 気候リスク・機会を反映

TCFD情報開示に対応 気候リスク・機会を反映。TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の勧告に沿って、企業は気候リスクと機会を財務情報に反映させる必要がある。気候リスクは、物理リスクと移行リスクに分けられる。物理リスクは、気候変動による直接的な損害や損失を指す。移行リスクは、気候変動対策による産業構造の変化や規制の変化を指す。企業は、気候リスクと機会を適切に評価し、財務情報に反映させる必要がある。

プレゼンテーション

環境経営と経営力強化 先進企業が実践するエネルギー対策とは

オムロン フィールドエンジニアリング エネルギーマネジメント事業本部



オムロン フィールドエンジニアリング エネルギーマネジメント事業本部

環境経営と経営力強化 先進企業が実践するエネルギー対策とは。オムロン フィールドエンジニアリング エネルギーマネジメント事業本部。環境経営は、企業の持続的成長を実現するための重要な取り組みである。企業は、環境経営を通じて、環境リスクを軽減し、競争力を向上させることができる。また、環境経営は、社会全体の持続的成長に貢献する。企業は、環境経営を推進し、持続的成長を実現する必要がある。

環境経営で成長を 太陽光の活用が鍵

環境経営で成長を 太陽光の活用が鍵。環境経営は、企業の持続的成長を実現するための重要な取り組みである。企業は、環境経営を通じて、環境リスクを軽減し、競争力を向上させることができる。また、環境経営は、社会全体の持続的成長に貢献する。企業は、環境経営を推進し、持続的成長を実現する必要がある。

基調講演

省エネ・脱炭素イノベーション

日本エレクトロロビートセンター 会長 内山洋司氏



日本エレクトロロビートセンター 会長 内山洋司氏

多様な省エネ加熱 コスト減にも貢献

多様な省エネ加熱 コスト減にも貢献。省エネ・脱炭素イノベーション。省エネ・脱炭素イノベーションは、企業の持続的成長を実現するための重要な取り組みである。企業は、省エネ・脱炭素イノベーションを通じて、環境リスクを軽減し、競争力を向上させることができる。また、省エネ・脱炭素イノベーションは、社会全体の持続的成長に貢献する。企業は、省エネ・脱炭素イノベーションを推進し、持続的成長を実現する必要がある。

特別講演

ソニーの環境への取り組み RE100達成への活動事例のご紹介

ソニー サステナビリティ推進部 環境グループ セネラルマネジャー 志賀啓子氏



ソニー サステナビリティ推進部 環境グループ セネラルマネジャー 志賀啓子氏

「挑戦」の精神 環境施策に反映

「挑戦」の精神 環境施策に反映。ソニーの環境への取り組み RE100達成への活動事例のご紹介。ソニーは、環境経営を推進し、持続的成長を実現するために、さまざまな取り組みを行っている。ソニーは、環境経営を通じて、環境リスクを軽減し、競争力を向上させることができる。また、環境経営は、社会全体の持続的成長に貢献する。ソニーは、環境経営を推進し、持続的成長を実現する必要がある。